

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～第12回

1. 実施日

令和3年11月6日（土）1・2限

2. 場所

1棟多目的室、図書館

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 山中 脩平・中村 啓介、7組 金本 瑞穂・矢野 和久

5. 内容

2年グローバル科ポスターセッション（課題研究中間発表会）に参加

2年グローバル科の科目イノベーション探求Ⅱでの探究成果の中間発表会に参加する。1年生は探究チーム毎に2年生の発表を聞き質問を行う。来年度の探究活動の内容に関して見通しが持てるようになることと、2年生の各探究チームの見方・考え方に触れることで、知識・見方・考え方を向上させることを目的とした。

6. 学び

5の内容を予定していたが、コロナの感染拡大予防のため、1年グローバル科の生徒がイノベーション探求Ⅱのポスターセッションに参加することは中止することになった。それゆえ、1限目にイノベーション探求Ⅰの担当教師1名のみがポスターセッションに参加し、いくつかの探究発表をビデオで撮影するようにした。撮影したビデオは2限目に生徒に視聴させた。なお、本授業の1限目は第11回に準じる内容で実施した。撮影したビデオには音声不鮮明なところがあり、当初の目的を十分に満たす活動にはならなかった。

7. 次回への課題

継続的に各探究チームと対話しながら探究内容の整理の支援・助言を行う。ビデオの撮影時の音声の取り方を工夫する必要がある。ポスターセッションでは多くのグループが色々な箇所で発表をするので全方位の收音方法のマイクは不向きであった。今回は iPad のカメラ機能を利用して撮影したが、外付けのマイク等を用意する機材面の課題を感じた。

8. 授業の振り返り

授業者がそれぞれ散開して探究チームの様子を伺い助言ができている。授業者がそれぞれ主体的に指導にあたっており、よい連携ができていると感じる。フィールドワークに出かけるように指導することが難しい状況ではあるが、調査対象となる企業等にメールで質問したり、遠隔でインタビューするなどの機会を作るよう声をかけることができた。